

その2

会津から 後援へ 近江

福島復興から日本の立て直し探訪

旅の案内人：神奈川県在住

大橋 しのぶ



(前回までのあらすじ)

二〇一五年五月、まほろばの宮下社長と母方の先祖が同じ福島県・会津若松である事が分かりルーツ探しのお手伝いをする事になりました。ちょうど七月に福島県二本松市で講演会をするという奥様の日程に合わせて、会津をご案内する事になりました。

ルーツ探しの方法

七月九日、宮下社長は札幌空港から仙台空港経由で、私は神奈川県から自宅から自家用車で会津若松へと出発しました。旅の始まりは大体、アイランドの歌手エンヤの「冷静と情熱の間」と、ケルティックウーマンの「A New Journey」のCDをかけて気持ち盛り上げます(笑)。

一足先に会津若松に着いた私はまっすぐに会津図書館に向かいました。そこで明治・大正期の住宅地図を出してもらい、戸籍の住所から宮下社長のご先祖様が住んで



会津図書館

いた場所を特定する為です。会津図書館の職員の方達は本当に親切で、土地柄もあるのでしょいか、こういうルーツ探しをいつも親身になって手伝ってくださいます。

時々「ルーツ探してどうやればいいの?興味はあるけど、どうやったらいいか見当もつかないよ」と聞かれる事があるので、ちよっと私のやり方をご紹介します。先祖代々その土地に住んでいた、家に系図が伝わっている方は親族に聞けば分かる話だと思いますが、そうでない方はまず自分

の戸籍を、本籍のある市役所からさかのぼれるだけ入手します。他所から移って来た方は、さらにその地の市役所に申請して、とにかくさかのぼれるだけ戸籍を入手します。

現代の戸籍制度は明治の初期から始まっているので、とりあえず戸籍だけで百数十年分、四〜五代の系図を作る事ができるはずですよ。特に北海道の方は明治・大正期にご先祖様が本州から入植して来た方が多いと思いますので、一番古い戸籍を見れば、本州のどこから北海道に転入して来たか分かる訳です。

あとはその土地の図書館や市役所に行つて、古い住宅地図や郷土資料を調べます。職員の方に事情を話して町の歴史に詳しい古老や郷土研究家の方を紹介してもらいのもお勧めです。そして戸籍

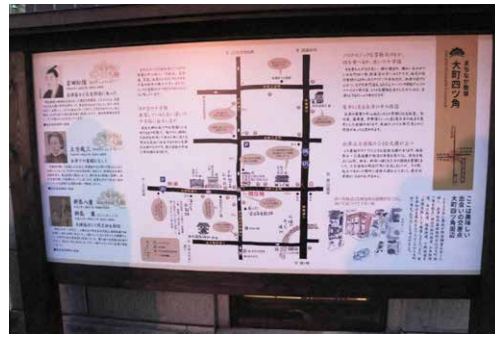
の住所に行き、今現在その住所に住んでいる方や近所の方に、何か先祖の事を知らないか聞いてみましょう。名字が一緒の家があったら親族の可能性も高いです。その為に戸籍はもちろんの事、位牌や家紋、古い写真などがあつたら持参すると良いです。

私の場合は、下北半島で今現在九十歳くらいの親族のおばあ様達が見つかり、会津・斗南藩士だった私のご先祖を覚えていてくれました。そう思うと幕末つて結構最近の事なのですね。その方達とは今でも遠い親戚として交流が続いています。



斗南藩領有地と移住経路

また近所のお寺を廻って、ご住職に聞いてみるのも有効手段です。運良く菩提寺が見つければ、その過去帳から更に何百年もルーツをさかのぼり、先祖代々の墓



古い建物が残る会津若松の町。野口英雄記念会館（写真左）が大町辻のすぐ近くにある。



所を発見する事もできるかもしれません。

そこまでできなくても私は先祖の地を踏むだけで、まるで大地に根が生えたような心強い気持ちになりました。そしてご先祖様達が苦勞して伝えて来てくれた命のリレーを実感する事ができて感謝の気持ちで湧いてきました。それは今もずっと続き心の支えになっています。海外旅行や普通の観光旅行も楽しいものですが、一生に一度くらいは先祖の地を巡る旅をしてみるのもお勧めです。

以上本場にざっくりですが、ルーツ探しにご興味のある方は良かったら試してみてください。

「リストランテ・ルーチェ」へ

夕方、会津若松駅前で宮下社長と合流し宿に荷物を置くと、さっそく



大町札の辻の碑

倉田本家のあった、町の中心地を示す大町札の辻にご案内しました。その場所には一九二一年（大正十年）に郡山商業銀行の若松支店が建ちました。大正ロマン溢れるレンガ造りのその建物は、現在イタリアンレストラン「Ristorante Luce」となっています。

そこで夕食はそのレストランでいただく事になりました。

ルーチェは外見も異国情緒の雰囲気漂い素敵ですが中も洗練されていて、まるで本当にイタリアにいるよう。会津若松にこんなおしゃれなお店があったんだ（失礼！）と感激しました。



リストランテ・ルーチェ外観

でも確か以前、ここは紅茶専門の喫茶店だった気がするけれど？と食事を始めると、給仕をして下さる女性スタッフの方が、ニコニコと話かけてくれました。

「先ほど外で写真を撮られていましたよね。ありがとうございます。どちらからいらしたのですか？」

「私は神奈川ですが、こちらの方は札幌からいらつしやいました。私達ルーツが会津で、こちらの方のご先祖様が昔このレストランの場所に住んでいたんです。」と答えると、

「え？札幌ですか？私、札幌からここに嫁いできたんですよ」との事。

「えー、そうなの？札幌のどのあたり？」

宮下さんもびっくりして名刺を出し、あの辺りでこの辺りでとローカルな話で盛り上がっています。その結果、その女性スタッフ上杉未来さんは、まほろばのある西区西野の隣、平和に住んでいた事が分かりました。おまけに、

「実家の母は、今もまほろばに買い物に通っていますよ」との事、本当に世間は狭いものです。

その女性スタッフはオーナリーシ



エフの奥様で、札幌の大学でご主人と知り合ったとの事でした。

ご主人は会津出身ですが、北海道東海大学に進み、スキー部に所属。卒業後も東京のレストランで働いたりイタリアに料理の修業に行っていたのが、二〇一一年の東日本大震災をきっかけに故郷に戻る事を決意して、震災の翌年、二〇一二年一〇月にこのルーチェを開店しました。

オーナリーシエフの矢澤直之さんいわく、

「実は自分はずっと会津が嫌いだったんですよ。何か田舎で閉鎖的で。でも震災が起こって、やっぱり故郷の為に何かしたいっていう気持ちになって戻ってきたんです。食を通じて小さくても復興の力になりた」との事。



す。食を通じて小さくても復興の力になりた」との事。

会津は昔から素晴らしい米どころであり酒どころ。地元会津の食材をベースに日本の美しい味を全国から集めているそうです。

原発事故を含め、未曾有の大災害だった東日本大震災ですが、それがきっかけで故郷に戻った若者も多いと聞いています。私が直接知る人としては二例目です。悪い事ばかりではないのが救いですね。

ちなみにもう一人は、茨城県稲敷市という所にある「発酵浴いらい」の跡取り息子である岩井武人さんです。お父様の岩井和廣さんは寺田本家の先代・寺田啓佐さんの親しい友人で、二〇一三年四月一八日、寺田さんの一周忌の日に合わせて発酵浴いらいを開店しました。川を渡ったすぐ向こう側が千葉県神崎町になり自然酒造りの老舗・寺田本家があります。

発酵浴いらいは微生物の力を利用した発酵浴（酵素風呂）施設です。発酵浴とは、発酵した松（ひのき）のおがくずの中に、砂風呂のように入浴するものです。本



樹バスター、天然温泉、EM、自然酒造り、発酵オイルをブレンドし、発酵させることにより70℃程度の熱が得られます。この微生物の熱の力によりお肌を温めることで、お肌を柔らかくする効果があります。また、お肌を柔らかくする効果があります。

Fermentation makes us happy.

発酵浴 いらい

に微生物の発酵力だけでこんなに おがくずが温かくなるの？というくらいあったかくて気持ちのいいお風呂です。身体の毒素が排出されて自然治癒力を高めます。

武人さんはずっと東京でサラリーマンをしていたのですが、やはり東日本大震災をきっかけにして人生を見直し、日本の為、地球環境の為に何か自分にできる事はないかと考えた末、茨城に帰ってお父様の仕事を手伝う事を決意さ

れたそうです。

実は微生物には放射能や有害物質を無害化する働きがある事が分かっています。岩井さん親子は、発酵浴いらいから微生物の力で地球環境と人々の健康を守る為の様々な活動を行っています。

話を会津のルーチェに戻します。更にオーナーご夫妻に話を聞くと、旦那様の方も東京で働いていたレストラン繋がりで宮下さんと共通の知り合いがいるとの事。専務の洋子さんが提唱されるインテグレートマクロビオテックを主催している、あのホールフードのタカコナカ



「アクアパッツァ」日高良美シェフ



「リストラテ・ルーチェ」矢澤直之さん、奥様未来さんと宮下社長

隠されていた歴史

ムラさんのご主人、イタリアンでは国内でもっとも著名な日高良美オーナーシェフの「アクアパッツァ」で修行した事があるとのことデビツクリ!! 本当に世間は狭いですね。

その後も美味しいコース料理は続き、すっかりイタリアの雰囲気にも包まれたせいか、ふと先日見た

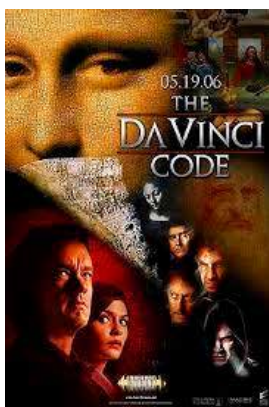
DVDの事を思い出しました。

「そういえば、先日やつとダヴィンチ・コードの映画を見たんです。ずっと見そびれていたのですが、エリクサーの小冊子にも紹介されていたので、すぐく見たくなっていました。とても面白かったです。あれって十分有り得る話ですよ〜。」

「そうそう、世界の国々の歴史はずっと勝国が作ってきた捏造も加えた記録でもあるから、実は抹殺されて隠された敗者の歴史の方が多く真実だったりする。イエスも何をしていたか不明な前半生や謎の七年間とかありますね。東洋各地に修行瞑想の旅をしたという報告もある。マグダラのマリアについてまだまだ隠された謎が多いと思いますよ」

※映画ダヴィンチ・コードは、レオナルド・ダ・ヴィンチが壁画「最後の晚餐」の中に、生涯独身で終えたはずのイエス・キリストが、じつはマグダラのマリアと呼ばれ

る女性と結婚をしていたというメッセージを、暗号(コード)にして隠したという設定の映画。イエスが磔にされたとき、マリアは彼の子供を身ごもっていたともいう。キリスト教や聖書の歴史を根底から揺るがす話題作。



「イエスもモーゼも実は日本に修行に来ていたという説がありますよね。例の竹内文書によると・・・。マグダラのマリアも実は娼婦でなくて奥さんだったとしたら、ずいぶんひどい隠ぺい工作ですね。」

「当時の残された聖書外典を読むと娼婦でなくて奥さんだった事が確認されていますね。ちゃんとサラっという子供もいたという。

イエスは神の子で穢れなき独身でなければならなかった宗教としてのキリスト教。それで自分は以前、0・1テストでマгдаラのマリヤとイエスの香水を作った事があったんです。これはイエスをテーマにした「太古の叡智」。十字架も正規のイタリア教会から取り寄せた本物ですよ」と、宮下社長は鞆からペンダントになっている香水瓶を出して見せてくださいました。

蓋を開けて匂いを嗅いでみると、エキゾチックなとても良い香りです。エルサレムやエジプトや中東の風景が浮かんできて、くらくるとほろ酔い加減になりそのまま紀元前にタイムスリップする



「太古の叡智（右）」と「心の花束（左）」

ような感覚になる香水でした。パッケージを見ると製造元は札幌のエッセンチアさんです。「あ、これエッセンチアの篠原さんが調合したのですか。私先月、初めてお会いしましたよ。篠原さん、寺田本家でお香のワークショップを開かれたので」

「そうだったんだ。彼とは近所だから、もうしょっちゅう会ってるんだけど、先日初めて彼の先祖の話を聞いてびっくりしましたよ。幕末に活躍した有名な陸軍少尉だったんですね。しかも薩摩の（笑）」

エッセンチアの篠原さん

篠原康幸さんは千葉県のご出身で、現在札幌でエッセンチアというお店を開いている調香師で、薬剤師さんでもあります。「水、光、香、音」をテーマに心と身体に優しい商品の製造開発、漢方療法・芳香療法も行っています。また寺



「エッセンチア」外観

田本家でも働いていた事があり、先代社長・寺田啓佐さんとまほろばの宮下社長がすでに知り合いだった事も不思議です。

幕末に活躍したご先祖様は篠原國幹（しのはら・くにもと）という陸軍少将で、天保七年（一八三六）に薩摩（鹿児島県）で生まれました。

明治六年、千葉県西北部大和田で陸軍大将・西郷隆盛の指揮下において近衛兵の大演習が行われ明治天皇が閲覧されました。その時に篠原少将は目覚ましい指揮力を発揮し、それを見て感激した明治天皇が「篠原に習え」とおっしゃった事によりこの地は「習志野」と呼ばれるようになったそうです。

明治天皇は後にこのような御製（和歌）を作っています。

夏草も 茂らざりけり
もののふの 道おこたらず
ならし野の原

（意味・ 習志野原は、夏草が生えないぐらい、兵士達がたゆまず演習している）

よほど篠原國幹さんの指揮が素晴らしかったのでしょうね。國幹さんは並外れて無口な方だったそうで、演習でもほとんど無言で指



近衛聯隊演習風景（習志野）大正七年



篠原國幹(上)と篠原康幸さん(右)
そっくりですね!!

揮を執ったそうですが、必要な箇所では大声で号令をかけたとの事。きつと戊辰戦争という実戦をくぐり抜けて来た猛者の迫力があつたでしょう。

少年時代は和漢学を修め、藩校の句読師となり、長じてからも和漢の典籍を読むことを好んだ文人としての一面もありました。冷静沈着で勇猛果敢、上司の西郷さんや部下からの人望も大変厚かつたそうです。



子孫の篠原康幸さんも繊細な調香師という顔の他に、ラグビーという趣味をお持ちで、四〇歳を過ぎた今も現役選手であり、鍛えあげられた肉体を維持し続けているという一面をお持ちです。お顔もやはり何となくご先祖様に似ていらっしゃると思います。

篠原國幹さんは、その後、征韓論に敗れ明治政府を離脱した西郷隆盛に付いて、陸軍を離れ薩摩に戻り、西南戦争では西郷軍一番大隊長として出陣しました。明治一〇年三月四日に激戦地の田原坂(たばるさか)で薩摩軍人の鑑を見るように、最初に死出の矢弾に当たるように突撃して、戦死。享年四二歳でした。この様子を民謡「田原坂」は描いています。

♪雨は降る降る
人馬は濡れる 越すに越されぬ田原坂
右手(めで)に血刀 左手(ゆんで)に手綱
馬上豊かな美少年…
司馬遼太郎『翔ぶが如く』に詳しいです。

「実は以前、鹿児島出身

の友人に西南戦争で戦死した先祖の墓所と一緒に探してもらった事があつたんですけど、その時に西郷隆盛や篠原國幹の墓所にも連れて行ってもらっているんですよ。

鹿児島島の南洲墓地と言うんですけど広大な墓所で、西郷さんと篠原さんは隣同士に眠っていました。」と、私。

「へ、彼も鹿児島に行った事あるのかな? 篠原くんとはもう長い付き合いなんだけど、お互い先祖の話なんかした事なかったから、ご先祖が薩摩人って分かってびっくりしましたよ。江戸城無血開城の時、南洲翁は会津藩には融和政策だったが、勝海舟は斗南転封を強硬に通した。だから会津の人々は鹿児島島の県民には友好的なんだね。國幹さんの出身地、加治



屋町からは、西郷・大久保・東郷・山本(権兵衛)など、錚々たる俊傑が輩出しました。実は若い頃、加治屋町、加治木町、鹿屋の多くの方々と交流した時があり、胸襟を開いて互いに打ち解けた不思議な一体感がありました。人柄が素朴で良いんですね。義兄も隣の日吉町だし、何か因縁が深いのでしようね。五月に倉田家の事を教えてもらってから、他にも色々な情報とご縁がつながり、ホントにびっくりしているところですよ。」

「篠原國幹さん、戊辰戦争では西軍側でかなり活躍しているんですよ。どうやら会津戦争にも参戦しているらしくて……。でもその時には敵方だったけど、今子孫同士が仲良く助け合って交流しているのが和解って感じで何か良いですよ。今度 宮下さんとルーツ探しの旅に行くって言ったら参加したがつっていたので、次回は会津にお誘いしてみましようか(笑)」

薩摩（鹿児島）との交流

私の先祖の一人樋口萬吾は戊辰戦争では別選隊の組頭として激戦地で戦い瀕死の重傷を負いました。一命を取り留めたものの明治十年、警察官として西南戦争に参加中、鹿児島にて当時流行っていたコレラで戦病死しました。篠原國幹さんもそうですが、まさに幕末の戦乱に翻弄された一生だったようです。

二〇〇九年秋、福島・東京・長崎・阿蘇・熊本そして鹿児島島の郷土史研究家の方々のご協力のお蔭様で、約四年がかりで樋口萬吾の墓所を発見する事ができました。そして年明けの二〇一〇年一月に母や友人達と鹿児島に行き墓参と法要を執り行いました。

萬吾さんは鹿児島川内（せんだい）の秦平寺内にある官軍墓地で、部下の方達に囲まれて静かに眠っていました。階級は三等省警部、推定年齢は篠原國幹さんと同じく四二歳前後と思われます。



会津から下北への苦しい旅路

そこを秦平寺さんや地元警察の方達が大切に守って下さっていたのが有り難かったです。薩摩川内警察の方達は掃除や献花をもう三八年間も毎月続けてくれているそうです。鹿児島の方達はお墓をととても大切にしている習慣があるそうで、確かに訪れたどの墓所もお花が沢山飾られて綺麗なのが印象的でした。

ご住職の羽坂光昭さんによると西南戦争以来、私達が初めての子孫による墓参と法要だったそうです。



斗南藩土上陸の地（下北）

私の高祖父母は廃藩置県により斗南藩（会津藩滅亡の後、下北半島に再興が許された新しい藩）が消滅した後も青森に残った少数グループの一員でした。下北半島は自然が厳しく貧しい土地柄で高祖父達は生きていくので手一杯だったようなので、とても遠く離れた鹿児島まで墓参には来られなかったのでしょうか。あらゆる意味で現代だからできた事なのかもしれません。

明治期に入ってから、元会津

藩士の多くは明治政府の傘下に入る事を厭い、生活苦に喘ぎながらも士官する事を拒んでいたのですが、西南戦争の勃発により多くの警察官が必要になった際に、戊辰戦争の仇討が出来たらと警察官になった者が数多くいました。

実際、西南戦争では「戊辰のたたき！」と叫んで薩摩軍に突入していった者がいた事が当時の新聞に掲載されています。

萬吾さんは戊辰戦争では賊軍と呼ばれ西南戦争では官軍と呼ばれ、西郷さんや篠原さんはその逆パターンで、本当に数奇な一生を送った方々だったと思います。

墓参の数か月後に現地の新聞社の方から電話取材を受けて新聞に掲載してしまいましたが、記事の最後に薩摩川内警察書の有馬考二副所長が、「薩摩・官軍の恩しゅうを超え、同じ警察官として、職務に忠実だった彼らの精神を受け継いでいきたい」とコメントされているのが印象的でした。

西南戦争当時、陸軍を離れて西郷軍に移った篠原國幹さんのよう

警察官ら38年間献花

薩摩川内・泰平寺の官軍墓地



元会津藩士子孫「ありがたい」

西南戦争で戦死した官軍兵が眠る薩摩川内市大小路町の泰平寺。「異郷の地で散った警視隊を弔いたい」と薩摩川内警察署員らが38年間、献花と清掃を続けている。1月には、従軍した元会津藩士の墓参りに千葉県に住む子孫が訪れ、「遠く離れた鹿児島で墓を守ってもらってありがたい」と感謝した。



同寺の墓には、軍の戦闘は数日間続いた。官軍兵8人がまつ

「日本警察の父」と呼ばれる川路利良大警視が官軍側で戦ったことなどによると、1877年6月、出水方面から進軍してきた官軍と西郷隆盛率いる薩摩軍が墓地に記念碑を建立した。同署は以降、毎月1回墓参。5月28日、川内川を挟み対峙。西



※太枠内は新聞記事とは別のスナップ写真です。

※『南日本新聞』
2010年6月12日付より

も、薩摩川内署員数人が周辺の草取りなどに汗を流した。千葉県松戸市の主婦大橋しのぶさん(37)は「西南戦争で亡くなった元会津藩士、樋口萬吾の子孫。2005年、福島県会津若松市を訪れたのをきっかけに先祖の墓探しを始めた。長崎や熊本など九州各地を回る中、昨年、泰平寺に先祖が眠っていることを突き止めた。今年1月2日、大橋さんは同寺を訪れ、「こ

れまで見てきた官軍墓地の中で最も手厚く管理されている。萬吾も安らかに休んでいることだろう」と住持の羽坂光昭さん(45)に語り、墓前に手を合わせた。

同署の有馬孝二副署長は「薩摩、官軍の恩しゅうを超え、同じ警察官として、職務に忠実だった彼らの精神を受け継いでいきたい」と語った。

より良い未来に向かつて

ちようど樋口萬吾の墓所が見つかった二〇〇九年秋は「JIN-仁」というドラマが三年ごしで放送されていました。内容をざっくり言うと、現代の脳外科医である南方仁という主人公が幕末の江戸にタイムスリップしてしまい、当時江戸で流行っていたコレラの治療にあたり、自分自身もコレラに罹患してしまい

に、現地の警察官の方達は真情的には西郷さん寄りの者が多かった事でしよう。確か西郷軍に移った警察官もいたと記憶しています。

本当に歴史に目を背けたり無関心だったりという訳ではなく、事実をしつかり受け止めた上で、過去の恩讐を乗り越える道をこれからも模索していきたいと思いました。

昨年八月十一日、この鹿児島

川内にある、川内原子力発電所一号機が再稼働しました。これは東日本大震災後の新規制基準下で全国初の再稼働であり、これにより一年十一カ月続いた「原発ゼロ」が終わってしまった日でもありました。川内原発がある九州は火山活動の活発な地であり、地震による津波被害は勿論の事、噴火による火砕流の危険性もあるそうです。

あの青く輝く鹿児島島の海や、風薫る豊かな森、生花で美しく飾られた墓所の数々、そしてそれを一緒に探してくれた友人知人、きつと今でも墓所を守ってくれている現地の方達を思い出すたびに、また福島原発の悲劇を繰り返す事がありませんかようにと祈らずにはいられません。

末の偉人達と出会って命を救ったりして、自分の行為が歴史を変えてしまうのではないかと悩みつつも、幕末の人々や歴史に深く関わっていくという物語でした。江戸にコレラが蔓延していくシーンもよく出ていて、さぞかし樋口萬吾や部下の方達も遠い薩摩の地でこういう風に亡くなったのだらうなと思えました。

このドラマ「JIN—仁—」は、TBSが開局六十周年記念という事で力を入れて作っただけあって、タイムスリップのSFとしても、幕末時代劇としても、医療ドラマとしても、またラブロマンスとしても、とても良くできた面白いドラマだと思います。ご興味のある方は是非DVDで見て下さい。原作の漫画もお勧めです。

主人公の南方仁はやがて二一世紀に戻ってくる事ができました。そして運命と過去を受け入れた上で、未来に向かって雄々しく歩き出します。

ちなみに完結編の主題歌は平井堅の「いとしき日々よ」という曲でしたが、これも白虎隊ドラマの主題歌「愛しき日々」に迫るよう



な良い曲です。何故かタイトルも似ています。

またヒロインの橘咲役を、大河ドラマ「八重の桜」の山本八重を演じた綾瀬はるかさんが演じています。

歌詞も良いのでちよつとラストのサビの部分だけご紹介します。

「いとしき日々よ

さよならは言わないで

あなたに会いたくて

もう一度会いたくて

届くまで叫びつつける

忘れはしない

この体が消えても

あなたに吹く風よ

あなたに咲く花よ

あなたと追いかけた明日よ

また会いたくて

いとしき日々よ

いま歩きだそう」

本当により良い未来に向かって、歩き出したいものです。

それにしてもリストランテ・ルーチェさん、とてもリラックスできて綺麗な店内だと思ったらこんなふうにご自己紹介されていました。

「旬とお客さまのその日求めているものを掛け合わせた即興音楽のようなスタイルです。イタリアンがベ-

スにあり、素晴らしいエスプリは垣根を越えて取り入れます。小さな町にあるレストランだからこそ、「リラックス」が含まれる空間でありたいです。

綺麗などころからしか美味しいものや綺麗なものは生まれないのとびきり掃除します。恐らく東北一、掃除をする店だと自負しています。」

東北一掃除をする店を自負しているなんて素晴らしいですね。本当にリラックスできる綺麗で素敵な店内でした。皆様も会津に行かれる事があつたら是非ルーチェさんで美味しい会津食材のイタリアンを堪能してみてください。



会津を旅して現地の食材を楽しむことも立派な東北支援の一環になる事と思います。

ダヴィンチ・コードからエッセンチアの篠原さんのご先祖様、幕末の動乱の歴史、福島復興等々、様々な話題が出て会津での夜は更けていきました。いよいよ明朝から町歩きの本番です(笑)。それはまた次号で……。

〓夏草も 茂らざりけり

もののふの 道を探して

会津嶺の夜

二〇一六年二月一九日

大橋 しのぶ

Luce の独自性

旬とお客さまのその日求めているものを掛け合わせた即興音楽のようなスタイルです。イタリアンがベースにあり、素晴らしいエスプリは垣根を越えて取り入れます。小さな町にあるレストランだからこそ、"リラックス"が含まれる空間でありたいです。綺麗なところからしか美味しいものや綺麗なものは生まれないのでとびきり掃除します。恐らく東北一、掃除をする店だと自負しています。



Ristorante Luce

リストランテ ルーチェ

福島県会津若松市大町 1-9-8

Tel : 0242-23-1727



●著者プロフィール

大橋 しのぶ

寺田本家 23 代目当主故・寺田啓佐さんとの出会いにより、蔵の微生物をテーマにした小説を書き、小冊子を発行することに。ペンネームで発表した小冊子作品は 5 作になる。2015 年、まほろば社長宮下周平と共にルーツ探しの旅の案内人として同行。神奈川県在住。

～ 3 月のおすすめ情報～

発酵の里こうざき 酒蔵まつり

● 第 10 回お蔵フェスタ 2016 年 **3 月 13 日 (日)** 開催決定 ●

開催時間 **9:00 ~ 15:30** 入場無料・雨天決行 千葉県香取郡神崎町



● 蔵見学ツアー 予約不要 会場：寺田本家仕込み蔵（寺田本家奥、右手です）＊ 9:00 ~ 15:30 15 分ごとにツアーへ出発（随時）、各回 30 名程。蔵人たちがご案内します。
微生物たちに心地よく働いてもらえるように、蔵人たちは響きあいながら、楽しく唄ってお酒を仕込みます。

● どぶろく 一杯 100 円 ＊マイカップ持参の方は特別大盛りに！！ お蔵フェスタ特別仕込みのどぶろくです。この日だけのお楽しみ。マイカップ持ってきてね。

● 発酵浴いらい 岩井さんも、「醗酵浴足湯」で参加されます。気持ちいいですよ。ぜひこの機会にお試してください。

～ロード・オブ・ザ・キリスト～

セミナー三部作（完結編）



3 月 20 (日)、大阪府枚方市樟葉にある北極流センチクラブ（ゆにわ塾）にて、マグダラのマリアをテーマにしたセミナーが開催されます。
第一部のイエスキ・リスト編、第二部の洗礼者ヨハネ編は大好評のうちに終了しました。
いよいよ完結編のマグダラのマリア編です。
このセミナーの単独参加でも OK です。

（詳細＆お申込みは）

北極流センチクラブ（ゆにわ塾）まで

TEL **072-807-5940**

受付時間 9:00 ~ 12:00

15:00 ~ 19:00



※ 3 月 19 日第二部・洗礼者ヨハネ編の再演が決定しました